全国一般愛知地本

＝発　行＝
全労連・全国一般労働組合愛知地方本部　＝　煤本國治
住所：名古屋市熱田区沢下町9－3
労働会館本館405

2026年９月26日

第54回地本定期大会開催！

向こう1年間の方針決定

執行委員長の挨拶から、26年度は労働相談などから15名を新規加盟として迎え入れたことが報告されました。来賓として全国一般中央本部から東中執行委員長を招き、その挨拶の中で中小企業にとって厳しい状況が続き、価格転嫁が進まず廃業も減らないことや、愛労連の西尾議長からは、10月から正規と非正規との間の不合理な待遇格差を解消するために法律が改正されるので、労組にとってパート加入者拡大のチャンスであることが述べられました。

今回の大会はアクリルの争議が終結した年であり、煤本委員長から争議終結の経過について報告がありました。また愛知地本には、職場の不合理に声を上げて闘う組合員がいて、地本全体で支援を続けていくことを確認しました。

地本共済会からの報告では、組合共済ならではの安い掛け金で利用できるメリットや仲間増やしの促進や交流でイベントを計画していることが紹介されました。人権や平和を守り、組織を大きくして暮らしやすい社会を実現しようと大会を締めくくりました。

（記　地本書記長）



定期大会を終えて

９月26日第54回定期大会で、愛知における一大解雇争議であったアクリルの争議も終わり、一息付けた感がありますが、地本内では４つの争議を抱え争議の勝利に向け奮闘している状況です。



全国一般としての方針での取組課題は多くあり全てが取り組めるわけではありませんが、愛知地本が抱える大きな課題は、未結集職場をどう結集させていくかだと考えています。この課題が克服できなければ愛知の全国一般の存続はないのではないかと思っています。

今年度このままいけば、アクリル支部は会社解散した為職場もなくなり争議も終ったことで解散します。また、東信化成支部についても解散し組合員は直属となる方向です。現役職場が減る中で多くの組合員を抱える組織が未結集である状況を打開しなければなりません。今年度は、この課題を大きな柱として位置付け職場訪問を積極的に取り組んでいきます。

（記　地本執行委員長）

小牧平和県民集会

９月27日小牧市市之久田公園に２５０名が集まりました。全国一般からは、あつた支部からの２人でした。

集会名が「小牧平和県民集会」となっていますが愛知県内の労組、市民団体、平和団体などで実行委員会を組んで主催しています。けっしてローカル集会ではないのですが参加者は年々少なくなっています。

ロシアによるウクライナ侵攻、イスラエルによるガザ攻撃、アメリカによるイラン攻撃。私たちは今、戦争になると一夜にして生活が変わってしまうことを目の当たりにしています。高市自民、維新政権は殺傷武器輸出に舵を切り、長射程ミサイル生産など愛知県は軍需産業の拠点となっています、小牧市にある三菱工業は北工場南工場とも拡張しています。三菱の下請けの中小企業も軍需産業を請け負うところが出てきています、天白区でもドローンを作っている企業が２社あることを知りました。

そこで賃金をもらって働く労働者は「戦争反対！」「殺傷武器輸出反対！」と反対の声を上げることができるのでしょうか。そんな労働者が増えたら、「戦争反対！」「憲法９条守ろう！」「殺傷武器輸出反対！」と私たちの声が空しくかきけされてしまうのではないでしょうか。今声を上げることが大事なのではと集会に参加しながら思いました。とはいえ我ら高齢者は体力は衰え、足腰悪くなって集会参加もままならない状況もあります。とりあえず自分のできる範囲で、無理しないで声を上げることを忘れないでいきましょう。

（投稿：あつた支部W）

